

低炭素杯2017に係る本県代表団体の取組について

1 緑丘学園 水戸英宏小学校・中学校(水戸市)の取組

- (1) 題名「ホテルネットワーク mito 英宏 eco スクールプロジェクト」
- (2) 受賞 ①環境大臣賞・金賞(学校部門)
②マクドナルドオーディエンス賞
- (3) プレゼン内容

偕楽園公園の耕作放棄地を生物多様な空間に再生し、昔生息していたホテルを呼び戻そうと市民、学校、行政が連携して活動を展開する「ホテルネットワーク mito」が結成され、学園下の放棄地と湧水水路の再生に取りかかった。森の間伐、不法投棄物の撤去等を行い、ホテルの復活に成功。

延べ2,500人の市民を巻き込んだ間伐による160tのCO₂削減に加え、うちエコ診断の集団受診、学園全体1,400本の照明の節電、水戸ホーリーホック公式試合のエコステーション等に学園全体が取り組んだことが高く評価された。学校部門の最高の荣誉である環境大臣賞・金賞を受賞、ゲスト審査員60名の投票で決定するオーディエンス賞も受賞する快挙となった。

2 倉持産業(株)(常総市)の取組

- (1) 題名「鶏も人も幸せ!持続可能な低炭素養鶏業の薦め」
- (2) 受賞 ウジェスーパ最優秀エコーガニック賞
- (3) プレゼン内容

倉持産業は、大手企業も多数選出されている企業部門から出場。鶏卵を120万個/日出荷する常総市を拠点とする企業。平成13年に品質管理室、平成21年に、省エネ・環境提案部を設立し、近隣への悪臭や排水及び廃棄物処理等に取り組んできた。廃棄物対策として卵の殻を製鉄所で必要な還元剤として利用、鶏糞は2ヶ月かけて有機肥料として有効利用することで平成26年度茨城県堆肥コンクール特別賞、茨城県知事賞を受賞。

低炭素杯2017では、養鶏場内の鶏に優しい少電磁波のLED灯の導入、鶏舎の屋根にロケットで使用する遮熱・断熱塗料を塗布することで冷暖房効率の向上に成功。継続した低炭素の取組が評価され、最優秀エコーガニック賞受賞。

【低炭素杯2017の様子】



ホテル保全の寸劇(水戸英宏)



鶏の省エネ対策の寸劇(倉持産業)



受賞者の記念撮影



環境大臣賞・金賞 受賞



マクドナルドオーディエンス賞



ウジェスーパ最優秀エコーガニック賞

【参考】過去の本県参加団体の受賞歴

- ・大会等：低炭素杯2015 (H27.2.13~14。東京ビッグサイト)
- ・テーマ：「TOKIWAの森から地域再生ESDプロジェクト 0円の森完成」
- ・内容：常磐大学の学生たちが大学周辺に広がる「常磐の森」を地域と協働して低炭素な手法で環境整備。
- ・受賞等：協賛企業団体賞である「損保ジャパン日本興亜環境財団最優秀わくわく未来賞」受賞